

## 29日 火曜

### 詩篇

35:19 偽り者の私の敵を私のことで喜ばせないでください。ゆえもなく私を憎む人々が目くばせし合わないようにしてください。

35:20 彼らは平和を語らず地の平穏な人々に欺きを企むからです。

35:21 彼らは私に向かって大きく口を開け「あはこの目で見たぞ」と言います。

35:22 【主】よあなたはご覧になりました。黙っていないでください。わが主よ私から遠く離れないでください。

35:23 奮い立ってください。目を覚ましてください。私のさばきのために。わが神わが主よ私の訴えのために。

35:24 あなたの義にしたがって私のためにさばきを行ってください。【主】よわが神よ彼らを私のことで喜ばせないでください。

35:25 彼らに心のうちで言わせないでください。「あははわれわれの望みどおりだ」と。どうか言わせないでください。「われわれは彼を呑み込んだ」と。

35:26 私のわざわいを楽しむ者たちがみな恥を見辱めを受けますように。私に向かって高ぶる者が恥と恥辱を身にまといますように。

35:27 私の義を喜びとする者たちが喜びの声をあげ楽しむようにしてください。彼らがいっつもこう言うようにしてください。「【主】は大いなるかな。ご自分のしもべの平和を喜ばれる方は」と。

35:28 私の舌は告げ知らせます。あなたの義を。日夜あなたの誉れを。

「あはこの目で見たぞ。」「あははわれわれの望みどおりだ。」「われわれは彼を、のみみ込んだ。」とは、非常にリアリティーのある表現です。



きつと詩人の心と耳に焼きついて消えない、心の傷になっていることばなのでしょう。

私たちもそのような、人のことばや行いが心に残り傷となっているものがあるでしょう。それを抱えたままでは、主の祝福の健全な道を歩むのが難しいのです。ですからこの詩人のように、そこに主のみわざをいただきましょう。自分の心のとげとなっているものを、主の前に認めて告白し、主の愛と全能の力で癒していただきましょう。

「ご自分のしもべの繁栄を喜ばれる主は、大いなるかな。」と彼らにいつも言わせるほどの、人間関係の勝利をいただきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

